

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日:平成26年7月16日)

開催日及び場所		平成26年6月27日(金) 関東森林管理局 2階小会議室					
委員		紺 正行(委員長・弁護士) 川野 由夫(税理士) 関口 雅弘(ジャーナリスト)					
審議対象期間		平成26年1月1日～3月31日					
審議対象案件		91件	うち、1者応札案件	23件			
		契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件					
抽出案件		7件	うち、1者応札案件	4件			
		(抽出率 7.7%) (抽出率 17.4%)					
		契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件					
		(抽出率 0.0%)					
抽出案件内訳	工事	一般競争		3件	うち 1者応札	1件	
				契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件			
		指名競争	公募型指名競争		該当なし		
			工事希望型競争		該当なし		
	その他の指名競争		該当なし				
	随意契約		該当なし				
	業務	一般競争		1件	うち、1者応札案件	1件	
				契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件			
		指名競争	公募型競争		該当なし		
			簡易公募型競争		該当なし		
			その他の指名競争		該当なし		
		随意契約	公募型プロポーザル		該当なし		
			簡易公募型プロポーザル		該当なし		
	標準型プロポーザル		該当なし				
	その他の随意契約		該当なし				
	物品・役務等	一般競争		3件	うち、1者応札案件	2件	
		契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件					
指名競争		該当なし					
随意契約(企画競争・公募)		該当なし					
随意契約(その他)		0件					
(特記事項)							
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問			回答等			
	<p>1 落札率の推移について、背景と傾向を説明願いたい。</p> <p>2 他機関における指名停止の情報についてどのように把握しているのか。システム管理されているのか。</p>			<p>1 公共工事については、平成23年度までは90%前後で推移していたが、東日本大震災後は、公共工事の発注が大幅に増え、技術者不足等の背景があり、落札率の高い状況が続いている。コンサルタント業務においては、総合評価落札方式や履行確実性審査の導入などにより、近年落札率が上昇している状況。</p> <p>2 特にシステム管理されておらず、案件毎に通知される。情報があつた都度、対象事業者が関東局における競争参加資格者かどうか、また対象事案が指名停止にあたるかどうかを分析し、事務を進めている。</p>			

<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>3 契約手続きの中で、一番競争性のある一般競争入札を採用しているが、全般的に入札参加者が少なく、競争性があるとは言にくい状況。参加者を増やす努力をしているか。</p> <p>4 造林事業の抽出案件について、事業のランクはAであるが、落札者がCとなっている。</p>	<p>3 ホームページに入札公告を掲載している。他にも希望者に調達情報のメールマガジンを配信したり、業界紙への掲載などの方法がある。公平性を確保しつつ、広く参加者を募る方法を今後も検討して参りたい。</p> <p>4 抽出案件の競争参加資格では、競争参加認定等級はA、Bランク、ただし林業労働力確保促進に関する法律に基づく認定を受けている者についてはA～Cランクとしている。参加した業者は当該法律に基づく認定を受けている業者であったため、参加が可能となり、落札者となった。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	平成26年6月27日(金) 関東森林管理局2階小会議室			
委員	紺 正行(委員長・弁護士) 川野由夫(税理士) 関口雅弘(ジャーナリスト)			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日
	H . .			H . .
	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				